平成30年度　跡発掘調査現地説明会

平成30年2月16日（土）

主催：江津市教育委員会

江津市教育委員会は、波積ダム建設工事（事業者：島根県土木部浜田河川総合開発事務所）に伴い、平成30年度に岩瀧寺跡発掘調査を実施しています。

１．調査の概要

遺跡名（所在地）：岩瀧寺跡（江津市波積町本郷550-1）

遺跡の種類：寺跡　　調査面積：2,500㎡

調査期間（予定）：平成30年6月18日（月）

～平成31年2月28日（木）

２．寺院の沿革（寺伝等による）

①平安時代初期：真言宗寺院として創建 ※開基：弘法大師

②戦国時代（文亀元（1501）年）：珠芳和尚が臨済宗に改修

③戦国時代（天正(1573～91)頃）：湯津山海蔵寺海蔵寺（大田市温泉津町）十一世通天正達和尚が曹洞宗に改宗し、岩瀧寺を開山　※この頃の寺領：3石（毛利氏八箇国御時代分限帳）

④江戸時代後期（文政3（1820）年）本堂の再建　※この頃の寺領：1石3斗（角鄣経石見八重葎）

⑤明治6年（1873）：大洪水により寺宝等流失

⑥平成24年（2012）：波積町本郷に移転

名称：熊野山岩瀧寺　※総源山海潮寺（萩市）末寺

宗派：曹洞宗　　本尊：大日如来

３．波積郷の沿革

①平安時代末期～鎌倉時代：大家庄稲富

（貞応2年（1223）石見国惣田数注文）

②南北朝時代：佐々木氏所領（都治河上両家根本之事）

③戦国時代：福屋氏・都治氏・石見吉川氏所領へと変遷したか（森家文書）

④江戸時代：石見銀山領

４．その他の関連資料

（1）小字名：「滝平寺平」（明治22年（1889）調製

「邇摩郡波積本郷地図字図」）

（2）文政3（1820）年、本堂再建時の瓦（岩瀧寺境内に展示中）

※鬼瓦：福光本領幾久屋長左衛門代　文政弐年辰秋月日

（3）文久2年（1862）家相図（所蔵：岩瀧寺）

　　 ※当時の岩瀧寺境内の建物配置・墓地などが詳細に描かれている

５．岩瀧寺跡の時代（平安時代以降）

表　岩瀧寺跡の時代の主なできごと

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時代 | 西暦 | 年号 | 岩瀧寺のできごと | 日本全体のできごと |
| 平安 | 806～810 | 大同年間 | 真言宗寺院として岩瀧寺創建（寺伝） |  |
|  |  |  | 藤原氏による摂関政治 |
| 鎌倉 | 1192 | 建久3 |  | 鎌倉幕府の成立 |
| 室町 | 1338 | 暦応1 |  | 室町幕府の成立 |
| 戦国 | 1501 | 文亀1 | 珠芳和尚が臨済宗に改宗 |  |
| 1551 | 天文20 |  | 戦国大名大内氏の滅亡 |
| 1556 | 永禄9 |  | 戦国大名尼子氏の滅亡 |
| 1573～91 | 天正年間 | 通天正達和尚が曹洞宗に改宗 |  |
| 安土桃山 | 1590 | 天正18  |  | 豊臣秀吉による天下統一 |
| 江戸 | 1600 | 慶長5 |  | 関ヶ原の戦い |
| 1820 | 文政3 | 岩瀧寺再建 |  |
| 明治 | 1868 | 明治1 |  | 江戸幕府滅亡 |
| 大正 | 1914 | 大正3 |  | 第1次世界大戦開始 |
| 昭和 | 1945 | 昭和20 |  | 太平洋戦争終結 |
| 1968頃 | 昭和42頃 | 庫裏の大改修 |  |
| 平成 | 2012 | 平成24 | 岩瀧寺の移転 |  |

６．まとめ

　岩瀧寺跡では、鎌倉時代以降の遺物が出土しています。このうち、戦国時代以降の遺物が増加するので、この頃から寺院の機能が拡充されたと考えられます。寺伝では、平安時代初期から寺院が成立したとされていますが、調査地ではこの頃の遺物は出土していません。

岩瀧寺跡発掘調査は、石見中部において地域の中核であった中小寺院の実態をうかがえる貴重な事例です。また、中世寺院跡の寺域を全面的に調査した事例は県内にも例がありません。

　個々の遺構の年代推定はまだ検討段階ですが、自然地形の制約を受けつつ、茅葺などの小規模な御堂が点在したであろう中世的な寺院から、大規模造成工事を経て高大な寺域を確保し、瓦葺の大規模な本堂と庫裏を建立した近世寺院への変遷は、地域の政治的・経済的な歴史と連動している可能性が高く、地域の埋もれた歴史を知る上で興味深い手がかりとなります。

【主催】江津市教育委員会

※少雨決行（天候により中止になる場合があります。）

【お問合せ先】

江津市教育委員会社会教育課文化振興係

住所：島根県江津市江津町1525

電話：0855‐52‐2501　FAX：0855‐52‐4369

【お問合せ先】

江津市教育委員会社会教育課文化スポーツ振興係

住所：島根県江津市江津町1525

電話：0855‐52‐7959（直通）　FAX：0855‐52‐4369

　岩盤と風成層の自然地形

自然堆積層

河川

岩盤

　標高の高い箇所が埋立て造成される

自然堆積層

河川

　全体が造成され石垣が構築される

図1　岩瀧寺跡下段（A区）造成の変遷模式図（文政3年（1820）以前）